



愛媛県
伊方町

贈呈
理由

地中熱利用と放射熱冷暖房により室内環境を調整するシステムを採用し、大幅な省エネルギーを実現



伊方町観光交流拠点施設 佐田岬はなはな



個別分散



ヒートポンプ給湯



地中熱

四国の西の玄関口 伊方町

伊方町は、日本列島で最も細長い半島として知られる四国最西端の佐田岬半島に位置し、南の宇和海側は、なだらかな白浜の連なる海岸、北の瀬戸内海側はリアス式海岸を形成しており、美しい自然の中に、温かい人情あふれる人々の暮らしが息づいている。

商業施設として 中四国初のZEB認証施設

「佐田岬はなはな」は、佐田岬半島の西端、三崎港の隣地にあった観光案内所などの施設に、レストラン・売店・展望テラス・ギャラリーなどを整備し、人と人、人と物の交流の輪が広がる伊方町の観光交流拠点施設として



青石壁

2020年5月にリニューアルオープンした。

レストランからは三崎港を発着するフェリーと宇和海、佐田岬半島に点在する風車が見え、抜群の景観美と新鮮な地元食材を使った料理を楽しむことができる。なお、リニューアルオープンと同時に国土交通省の「みなとオアシス」に登録されている。

同施設は省エネルギーと地域振興を同時に実現させる「伊方モデル」の確立を目指し、商業施設としては中四国で初めてNearly ZEB認証を取得しており、快適な室内環境を実現しながら、使用する一次エネルギーを省エネルギー・創エネルギーで従来の25%以下に削減している。

空調では、地下約100mの安定した低温の地中熱エネルギーを取り出し、



地中熱利用高効率ヒートポンプチャラー

年間を通して冷暖房に活用することで省エネルギーを実現するとともに、ギャラリーや売店スペースなどには、パネル式放射冷暖房設備や、愛媛県産の青石がもつ優れた蓄熱性能を利用した石垣放射冷暖房設備を採用し、直接冷温風が体に当たらない、穏やかで心地よい室内環境を作っている。また、電化厨房と業務用エコキュートの採用で、省エネルギーと安全で快適な作業環境の両立を図っている。

今後も、省エネルギーと地域振興を実現させる「伊方モデル」のシンボルとしての役割を十分に果たし、省エネルギーと地域振興の活性化に寄与していきたい。

伊方町観光交流拠点施設 佐田岬はなはな

所在地：愛媛県西宇和郡伊方町三崎1700-11
建設設計：京・山口設計共同企業体
建設施工：堀田建設(株)伊方支店
設備設計：株式会社日本設計
設備施工：伊方電気工事(株)
延床面積：1,200.02㎡
竣工：2020年新設

■設備概要

業務用エコキュート7.2kW×5台(三菱電機)
貯湯槽2.75㎡
地中熱利用高効率ヒートポンプチャラー
(放射パネル+青石による石垣の放射冷暖房システム)
85kW×1台(ダイキン工業)
地中熱利用高効率ヒートポンプ(ビル用マルチ)
45kW×3台(ダイキン工業)